

スコアボード

第54回 横浜国際チビ子サッカー大会
9月11日(日)から 市内各グラウンド
第61回 日朝親善サッカー大会
10月22日(土)、23日(日) ミツ沢陸上
カテゴリーごとの対戦
第3回 タカナシカップ
10月30日(日)、11月3日(祝)
しんよこフットボールパーク



発行 一般社団法人横浜サッカー協会
編集 同 広報委員会
〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-6-3
DSM新横浜7F
TEL(045)474-4315 FAX474-4316
http://www.yokohama-fa.or.jp
印刷 神奈川新聞社
〒231-8445 横浜市中区
太田町2-23
TEL227-0739 FAX227-0785

バディーSCが全カテゴリー制覇
女子の部 優勝横浜ウインズ
第49回春季少年サッカー大会



第49回横浜市春季少年サッカー大会は、各カテゴリーとも

行われた。昨年度は、近隣地域ブロックで予選リーグを行ってきたが3年ぶりに例年通り、抽選でのブロック分けで、感染防止ガイドラインに基づいて市内各会場にて予選リーグが行われた。

少女の部は参加11チームで予選リーグを行い、上位4チームが決勝トーナメントへ進む大会方式。激戦を勝ち抜いてきた横浜ジュニオール対金沢ガールズ、そして緑ビクシーズ対横浜ウインズによる準決勝戦は、PK戦や1点差の接戦で勝ち抜いた金沢ガールズと横浜ウインズによる決勝戦は、お互い譲らず無得点の末、PK合戦をものにした横浜ウインズが優勝した。

U8は、予選リーグ上位チーム24チームによる決勝トーナメントが行われた。コロナウイルス感染症拡大で、しばらくトーナメントが無かったカテゴリーだったが、久々の決勝トーナメントは、横浜すみれSCとバディーSCによる決勝戦は、バディーSCの優勝で幕を閉じた。U8はこれからも成長が楽しみである。

U10、U12は、決勝トーナメントで上位6チームまで第14回神奈川県チャンピオンシップ大会への出場権が与えられるために特に熱戦が繰り広げられた。U12カテゴリーは、JFA U12のSリーグ参入も兼ねているため、更に熱い試合で力が入っていた。

大会結果
【少女の部】
決勝戦 横浜 0-0 金沢ガールズ
PK3-2
3位決定戦 横浜ジュニーズ 2-1 オール
【U8】
決勝戦 バディー 4-0 SC
3位決定戦 横浜すみれSC 3-3 SC
PK4-3
【U10】
決勝戦 バディー 2-0 SC
3位決定戦 横浜すみれSC

【チャンピオンシップ出場権】
KAZU・SC JFC F
UTURO
【U12】
決勝戦 バディー 1-0 あざみ野SC
3位決定戦 SCCH・4-0 太尾FC
【チャンピオンシップ出場権】
黒滝SC 横浜ジュニオール
青葉FC 1-1 横浜ジュニオール
PK1-0
【チャンピオンシップ出場権】
KAZU・SC JFC F
UTURO
【U12】
決勝戦 バディー 1-0 あざみ野SC
3位決定戦 SCCH・4-0 太尾FC
【チャンピオンシップ出場権】
黒滝SC 横浜ジュニオール

内田 渉会長ら再選
定時総会 新役員決まる

(一社)横浜サッカー協会は6月23日、2022年度定時総会を開催した。同総会で、2021年度事業報告(2)2021年度決算関連について審議し、原案通り可決した。

今総会で役員が任期満了となるため役員改選が行われた。新たな役員は次の通り。
会長 内田 渉
副会長 加藤 範義
専務理事 鈴木 栄一
理事 石井 和則
岩澤 明彦
忍足 充
鈴木 康司
田島 隆道
野口 隆
水野 晴雄
岩永 豊司
高島 和夫
監事



メダルを掲げ、よろこびの神奈川区選抜

神奈川区選抜が優勝
第25回横浜市区選抜大会(マリノス杯)

市内18区から選抜された区代表チームが、サッカーを通して心身の健全を目的とし、また、サッカーのレベルアップを目指す第25回横浜市区選抜少年サッカー大会(マリノス杯)は、3チーム6ブロックに分けて6月26日に予選リーグが行われた。各ブロック1位チームと全6ブロック2位の上位チームが決勝トーナメントに進出。トーナメントはどの試合も見こ

【U12】関東大会出場
優勝 バディーSC
準優勝 あざみ野FC
3位 足柄FC
【U10】
優勝 バディーSC
準優勝 横浜すみれSC
SFAAT
ISEHARA
3位 足柄FC

【U12】関東大会出場
優勝 バディーSC
準優勝 あざみ野FC
3位 足柄FC
【U10】
優勝 バディーSC
準優勝 横浜すみれSC
SFAAT
ISEHARA
3位 足柄FC

【U12】関東大会出場
優勝 バディーSC
準優勝 あざみ野FC
3位 足柄FC

【U10】
優勝 バディーSC
準優勝 横浜すみれSC
SFAAT
ISEHARA
3位 足柄FC

【U10】
優勝 バディーSC
準優勝 横浜すみれSC
SFAAT
ISEHARA
3位 足柄FC

【U12】関東大会出場
優勝 バディーSC
準優勝 あざみ野FC
3位 足柄FC

【U10】
優勝 バディーSC
準優勝 横浜すみれSC
SFAAT
ISEHARA
3位 足柄FC

【U10】
優勝 バディーSC
準優勝 横浜すみれSC
SFAAT
ISEHARA
3位 足柄FC

【U12】関東大会出場
優勝 バディーSC
準優勝 あざみ野FC
3位 足柄FC

【U10】
優勝 バディーSC
準優勝 横浜すみれSC
SFAAT
ISEHARA
3位 足柄FC

【U10】
優勝 バディーSC
準優勝 横浜すみれSC
SFAAT
ISEHARA
3位 足柄FC

【U12】関東大会出場
優勝 バディーSC
準優勝 あざみ野FC
3位 足柄FC

【U10】
優勝 バディーSC
準優勝 横浜すみれSC
SFAAT
ISEHARA
3位 足柄FC

【U10】
優勝 バディーSC
準優勝 横浜すみれSC
SFAAT
ISEHARA
3位 足柄FC

【U12】関東大会出場
優勝 バディーSC
準優勝 あざみ野FC
3位 足柄FC

【U10】
優勝 バディーSC
準優勝 横浜すみれSC
SFAAT
ISEHARA
3位 足柄FC

【U10】
優勝 バディーSC
準優勝 横浜すみれSC
SFAAT
ISEHARA
3位 足柄FC

# Fスタジオが初優勝

## 市長旗争奪サッカー大会(U15)

令和4年度第57回横浜市旗争奪ジュニアサッカー大会(U15)が6月19日に玄海田公園で決勝戦が行われた。決勝戦はFスタジオ対JFC FUTUROのクラブチーム同士の戦いとなり1対0でFスタジオがJFC FUTUROに熱戦で制し、初優勝した。同大会は、4月1日より始まり中体連(154校)とクラブチーム(28チーム)がそれぞれ予選を行い、8チームずつ本戦出場を決定した。



**チーム全員が一丸でFスタジオ 有川啓介**  
チーム全員が一丸となって戦い、この歴史ある市長旗杯

トーナメント方式の本戦は、中体連代表8校のうち大綱中学校が検討し1校だけが2回戦まで進んだが優勝チームのFスタジオに3対2と惜しくも敗退した。

優勝 Fスタジオ  
準優勝 JFC FUTURO  
第3位 KAZUSC  
大豆戸FC

## 市民リーグ優勝を表彰 2022年度 社会人委員会登録総会

5月14日、関内ホール小ホールにて2022年度社会人委員会登録総会が行われた。例年同様、昨年度の市民

で優勝できて嬉しいですが、苦しい試合もありましたが、自分たちのプレーをしつかり切り、勝つことができました。

リーグ優勝チームの表彰も行われた。

今年度は土曜日に活動できるチームが増えたようで、土日・祝の参加チームが例年になく多くなった。これもコロナの影響なのだろうか？

2021年度市民リーグ優勝  
1A・FCソシオス、1B・Club ATLETICO UMOJA、1C・かながわクラブ、1D・YSCC、2A・今宿・VELHOSO CIEITY、2B・DANGER、2C・リコーサッカー部、3A・LORTS YO KOHAMMA、3B・FC LANDS、3C・FC Curiolaso。

# サッカーゲームを楽しむ

## 41チーム スーパーキッズサッカーが参加



2022YFAスーパーキッズゲームサッカーフェスティバルGoal43が、6月25日にしんよこフットボールパークにおいて開催された。このキッズサッカーは、加盟団体及び園児(幼児)の技術向上と心身の健全育成の助長を図ることを目的とし、またゲームを通して、より多くの子どもたちが楽しみを味わえる機会を提供するために行われている。2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症

# 一般社団法人 横浜サッカー協会 創立90周年

横浜サッカー協会は今年、創立90周年を迎えた。記念式典等は実施しないとしているが、委員会ごとに記念事業の実施について検討している。広報委員会「機関誌Breeze II」では未来へつながる新たな歩みを期待し、横浜サッカーの90年の歴史を振り返ってきた。

1932年(昭和7年)、

横浜ア式蹴球協会が設立された。当時横浜では、旧制中学校にサッカーが広まりはじめ、大会が行われるようになってきた。その年に、横浜工専(現横浜国立大学工学部)、横高商専(現横浜国立大学経済学部)、横高専(現神奈川大学)、市立横商専(現横浜市立大学)、横浜高専OB、関東学院OBが参加して市民ア式蹴球大会を開催した。

その後、横浜はじめ神奈川県下でサッカーが広まりつつあるなか、第二次世界大戦のはじまり、そして太平洋戦争によって学生スポーツ大会が

禁止されてしまった。戦後、1946年に横浜蹴球協会が復活。翌年の1947年には「第1回秋季市民蹴球大会」を開催。平和の訪れとともに国内においてスポーツ振興が行われ各種大会が開催されるようになってきた。1950年には保土ヶ谷公園内に日本で初めての全面芝の蹴球場が完成。横浜のサッカー発展の礎ともいえる。

市民スポーツの振興とともにサッカーも普及したとはいえず、また物資の乏しい時代、国際社会も東西対立の冷戦状態という厳しい社会環境のなか、かつてのサッカー

# “サッカー文化” を発信!!

戦後の復興から高度経済成長に向かう時代となり、1964年東京オリンピックの開催、日本リーグの発足もサッカーの発展への大きなファクターともいえる。

国際港都、横浜ならではの大会も行われてきている。1966年には、まだ国交のなかった中国に横浜市立の高校

の提携を結んでいる7都市の少年サッカーチームを招き「横浜友好都市国際少年サッカー大会」を開催。さらに、翌年の1990年には横浜から4姉妹都市に少年サッカーチームを派遣し、親善大使の役割も担っている。

横浜のサッカーの歴史の中でYC&ACの存在も大きな



日韓親善ジュニアサッカー大会(ニッパツ三ツ沢球技場)

る。こうしたYC&ACの活動が横浜のサッカーの発展にも貢献している。

1993年のJリーグの開幕、そして2002年FIFAワールドカップ日韓大会の開催とともに横浜にサッカー熱が盛り上がりつつきた。横浜サッカー協会の加盟チーム数も増え、各カテゴリーでのサッカー大会の開催など、事業の拡充とともに協会機構の充実をはかり、2012年には法人格を取得し、一般社団法人横浜サッカー協会へ移行した。

少年や少女、社会人、シニアと多くの市民がサッカーを楽しめる横浜のサッカースタイルが評価されて、201



第50回日朝親善サッカー大会(ニッパツ三ツ沢球技場)

7年には文部科学省より「生涯スポーツ優良団体」を受賞した。

横浜サッカー協会の歴史を見ると常に時代のニーズに対応したサッカー文化の担い手であったといえる。創立90周年を機にさらなる横浜サッカーの発展に結びつくサッカー文化の発信が期待される。

## 法人会員一覧

- |           |               |
|-----------|---------------|
| 横浜マリノス(株) | (株) 横浜シミズ     |
| 神奈川新聞社    | JFE東日本ジーエス(株) |
| 横浜食品開発(株) | (株) 横浜アーチスト   |
|           | (有) フリースタイル   |

**横浜でサッカー競技**  
全国健康福祉祭・ねりんピック  
11月12日～15日

ねりんピックの愛称で毎年行われている全国健康福祉祭が11月12日(土)から15日(火)まで神奈川県で開催される。主に60歳以上の高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を目的にスポーツや文化種目の交流大会をはじめ健康や福祉に関する多彩なイベントが行われる。横浜では、サッカー競技が行われ、選抜チームの参加と運営を行う。

防止のため中止となっていた。今回は、38団体41チーム422名が参加。一つのボールを蹴り、そして追いかけ、ゴールを目指して元気いっぱいサッカーを楽しんでいた。

スーパーキッズサッカーは、10月1日(土)、2月25日(土)に開催予定。